

グリーン購入に係る2018年度以降の変更点について

◆新財務会計システムの導入

財務会計システム更改に伴い、グリーン購入に関する項目は、財務会計システム内で確認する仕様となりました。「物品購入伺ツール」は無くなりましたので、今後グリーン購入の調査でも伺ツールを使用することはありません。グリーン単位という考え方も無くなりました。

◆グリーン実績表提出依頼について

新財務会計の中でグリーン適合等の入力をしていただくことになりましたので、**2018年度以降のグリーン実績**は、環境政策課がEUCで確認できるようになりました。よって、実績表の提出依頼は今回が最後になります。今後、各課庶務担当の方々には、引き続きグリーン購入の推進にご配慮いただくとともに、財務会計システム入力時には適切な項目の選択をお願いします。

▼財務会計システム入力時の注意点

①下図の「グリーン対象」選択基準表を参考に、「グリーン対象」をプルダウンリストの中から選択してください。

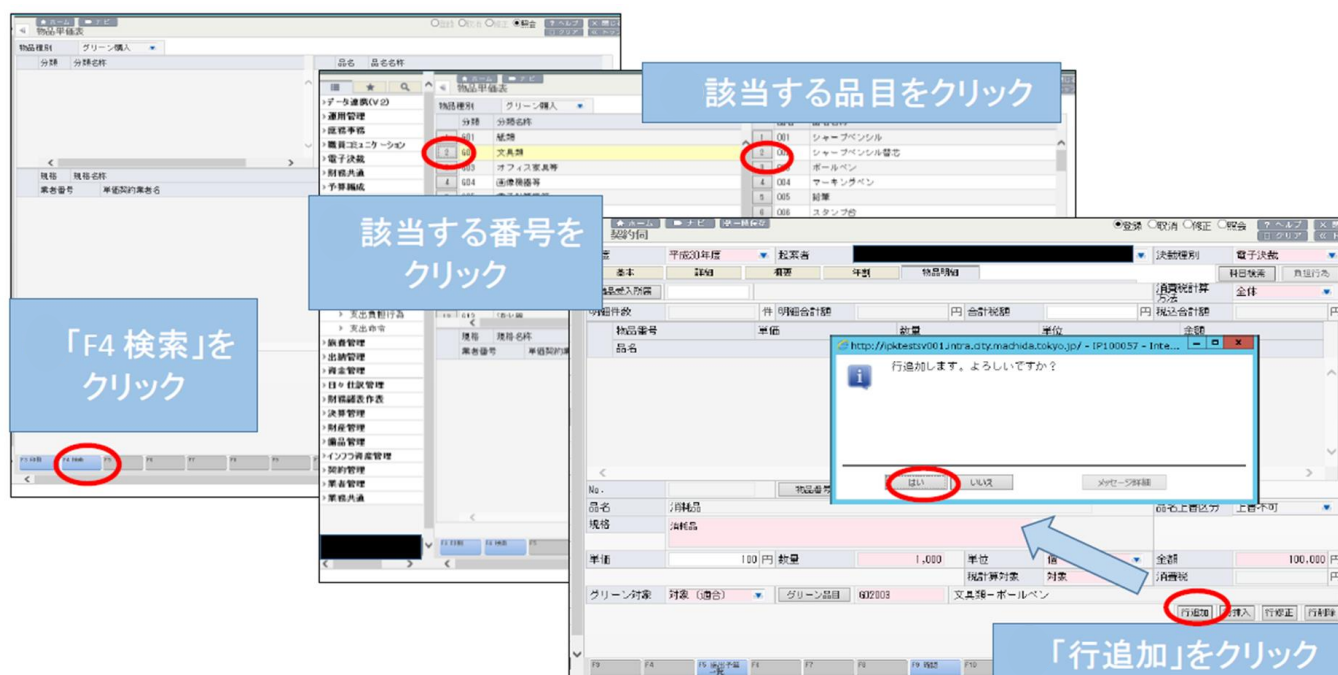
「グリーン対象」選択時の判断基準	
適合	グリーン対象品を購入する場合
非適合：価格優先	価格が理由で非適合品を購入する場合
非適合：品質優先	品質が理由で非適合品を購入する場合
非適合：該当品無	該当品が無く非適合品を購入する場合
非適合：その他	その他の理由で非適合品を購入する場合
対象外	グリーン対象外品を購入する場合

「非適合：その他」の例としては、納期の都合上非適合品を購入せざるを得ない場合など。

②次に、グリーン品目ボタンをクリックし、品目を選択します。

次頁に続く

③まず「F4 検索」をクリックし、該当する分類の番号→該当する品目をクリックすれば選択完了。入力は、購入品名ごとに行追加し、それぞれ行ってください。



※契約同時の入力を修正したい場合については、後ほどの修正処理が可能です（グリーン項目に限らず）。ただし、決裁者による契約伺取り消し処理など、諸々の訂正処理が必要となります。契約伺の修正やシステム全体の操作については【新財務会計システム操作マニュアル(1.2版)】（契約課作成）等をご参照ください。

以上

- 2017年度まではシステム外で各課庶務担当者などが入力
(契約伺の際にグリーン購入 適合・非適合・対象外 を入力)



入力漏れが多数発生
年度末に庶務担当者などのとりまとめ作業等が発生

- 2018年度からは財務会計システムにグリーン購入を導入
(契約伺の際に必須入力項目に！ さらに選択項目を細分化！)



入力漏れはなし！
年度末の庶務担当者などのとりまとめ作業もなし！
必須項目にしたことで毎回グリーン購入を意識するように！
選択項目※を細分化したことでグリーン購入を考えさせるように！

※選択項目→適合・非適合(価格優先・品質優先・その他)・対象外